

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人 たみき園		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～ 令和6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	低学年高学年に分けて行うことで課題の目的や内容をより利用者様にそって行うことが出来る。	リズム、SST、感覚統合、学習支援、ビジョントレーニング、巧緻動作訓練、実行機能訓練等児童にあった課題を設定している。	一人一人のレベルにあった支援の仕方を工夫するために研修等を行う。
2	自由時間と課題の時間が分かれており、学校の大集団の前段階の小集団で、メリハリや切り替えを習得していける。	個々での活動の様子、集団での活動の様子をしっかりと観察・評価し次の課題へつなげるようにしている。 出来ないことを出来なくてもいいから挑戦しようと言う気持ちを大切にしている。	職員個々が利用者様の強み・弱みをしっかりと観察・評価していけるように日々の話し合いを充実していく。
3	利用者様に対してのかかわりを利用者様の特徴にあった接し方や声掛けを心がけ、変化にきづくようにしている。また利用者様、保護者様の意見や要望を聴きその都度解決・実行するように心がけている。	利用者様の意見を取り入れ、目的に沿って課題を設定している。問題が起こった際には、SSTで取り入れ皆で解決していけるように取り組んでいる。	問題が起こる前に気づけるように職員が利用者様の特徴をとらえて行動を予測していけるように話し合いを充実していく。 利用者様や保護者様が気軽に意見を言えるような雰囲気作りに務める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員個人の発達障害に対する特性を理解し・かかわり方や、声掛けの仕方を理解しきれていない。	研修や勉強会を行っているがまだまだ不十分。	研修会の参加や、勉強会の強化、職員の意識付けの工夫を行っていく。
2	長期休みの放課後等デイサービスの時間が短い。	多機能型の為職員配置の問題がある。	職員が増えれば対応していく
3	低学年と高学年を分けていることで低学年から高学年に変わるときに曜日が変わってしまう	他の事業所に通っている児童の曜日の調整	初回面接時に説明。モニタリング時に事前に調整していく